

## ◎ FM戦略プラン検討委員会意見への対応について

【FM推進課】

### 1 次回検討委員会に向けた骨子案の修正等

外部有識者等で構成されるFM戦略プラン検討委員会では、これまで、FM戦略プランの骨子案について各パートに分けて検討を行ってまいりました。

1月29日に開催予定の第4回検討委員会が最終回となりますので、答申案策定に向け、骨子案全般をご検討いただきます。

この検討に向け、以下のとおり対応を図ります。

#### (1) 第3回検討委員会意見への対応

去る11月22日に開催した第3回FM戦略プラン検討委員会では、主に骨子案第6章「公共施設の維持・更新費用の縮減及び収入の創出」から第8章「FM戦略プランの推進手順・進捗管理」及び計画全体の流れについてご検討いただきました。いただいた主な意見については、以下のとおり対応します。

No.	骨子案該当部分		意見概要	対応(案)
	頁	項目		
①	1	第1章 1 計画の目的(1)	公共施設の検討にあたっては、市民ニーズが変わってきていることも踏まえなければならない。	市民ニーズの変化も公共施設を見直す背景にある旨を記載する。
②	1 ・ 2	第1章 1 計画の目的(2)	基本的姿勢のポイント1について、まちづくりを定義している計画(都市計画マスタープランなど)も踏まえ、どのようなまちを目指しているのかを市民に分かりやすく伝えてほしい。	構成を見直し、都市計画マスタープランも含め、第1章の「計画の目的」で目指すまちづくりについて記載する。
③	2	第1章 1 計画の目的(3)	前回の本文中に記載されていた「経営的な視点」という文言について、もう少し噛み砕いた表現で説明してほしい。	公共施設として捉えた表現を本文中に追記する。
④	4 ・ 5	第1章 2 FM戦略プランにおける施設検討の視点	公共施設検討の視点を設けたことは良かったが、それらがどこから導かれたのかを記述すべき。	当該視点が導き出された経緯について、文章や図を用いて、分かりやすくなるように追記・修正する。

No.	骨子案該当部分		意見概要	対応(案)
	頁	項目		
⑤	3 ・ 5 ・ 64	第1章 1 計画の 目的 図1-1 図1-2  第5章 1 基本方針	公共施設検討の視点、基本的姿勢、基本方針のつながりを整理した方が良い。	「公共施設検討の視点」を導き出した考え方を追記する。 また、各章の関係性について、構成イメージ図を追記する。 さらに、「基本的姿勢」という項目は、第1章に要旨を記載したことから削除し、第5章の基本方針に「市民協働の視点を持つ」を新たに追加する。
⑥	12	第2章 2 横須賀市の公共施設を取り巻く現状と課題(3)	大規模改修の定義については、元の状態を上回ることだと思う。元の形への復旧は修繕ではないか。	定義を確認し、記述内容の修正を行う。
⑦	33 ～ 51	第3章 3 カテゴリー別に見た将来像	公共施設検討の3つの視点と将来像に関連性を持たせるべき。	現状の機能を区分したカテゴリー表ではなく、将来像を記載するページで、3つの視点との関連性を示す。
⑧	33 ～ 51	第3章 3 カテゴリー別に見た将来像	すべてのカテゴリーについて、総括的な将来像を記載するべき。	将来像については、すべての機能別の将来像を示した上で、それらを包括した総括欄を設ける。
⑨	55 ～ 60	第4章 2 再編手法の具体的なイメージ	一般的な表現だけではイメージしにくいいため、具体的な事例を示すべき。	一般的な事例を記載している章だが、本市で同様の事例があるものを追記する。
⑩	74	第6章 4 縮減目標等 図6-4・5	前回資料にあった算出根拠を資料編に記載することとしたため、縮減目標の記載が要約し過ぎているのではないか。	更新費用の推計に関するグラフを追記し、現状のまま取り組む場合、縮減に取り組む場合の将来推計が分かるようにする。
⑪	84	第8章 3 進捗管理(1)	進捗管理について、内部的な検討しか行われないことに不安がある。外部の視点も必要ではないか。	行政改革プランにFM戦略プランによる取組みを位置付けること等を記載し、外部有識者等による評価・助言が行われるような仕組みを検討する。

## (2) その他の修正等

これまで、個々のパートで検討を進めていた骨子案について、改めて全体の構成を確認し、次回検討委員会に向けて、必要に応じた修正を行いました。

主な追記・修正ポイントは以下のとおりです。

### ① 章立ての見直し

計画の目的、公共施設の現状、機能面から見た将来像、実際の実施、進捗管理の関係性を整理するため、章立ての順序を修正しました。

### ② 第3章「施設の将来像」の記載内容を修正

第3章の「1 施設の将来像に対する基本的な考え方」において、機能に着目して、まちづくりのビジョンを持ち、機能をカテゴリー毎に分類する旨を明記しました。